

Mizuho Daily Market Report

2024/8/21

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	146.62	145.26	▲1.33	▲1.58
EUR	1.1084	1.1130	+0.0045	+0.0137
AUD	0.6727	0.6745	+0.0014	+0.0111
SGD	1.3083	1.3052	▲0.0030	▲0.0124
CNY	7.1425	7.1293	▲0.0102	▲0.0257
MYR	4.3752	4.3815	▲0.0013	▲0.0657
THB	34.23	34.21	▲0.25	▲0.95
IDR	15436	15435	▲118	▲398
PHP	56.59	56.56	▲0.09	▲0.42
INR	83.77	83.79	▲0.08	▲0.18
VND	24926	24925	▲48	▲200

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.807%	▲6.4 bp	▲3.6 bp
日本(10年)	0.893%	+0.3 bp	+4.6 bp
ユーロ圏(10年)	2.215%	▲3.1 bp	+2.9 bp
オーストラリア(5年)	3.624%	+3.8 bp	▲4.1 bp
シンガポール(5年)	2.703%	+0.7 bp	▲4.9 bp
中国(5年)	1.886%	▲0.4 bp	▲2.7 bp
マレーシア(5年)	3.516%	▲0.4 bp	+2.1 bp
タイ(5年)	2.283%	+1.3 bp	▲4.6 bp
インドネシア(5年)	6.501%	▲4.2 bp	▲13.6 bp
フィリピン(5年)	5.924%	+4.2 bp	▲7.7 bp
インド(5年)	6.783%	+0.0 bp	▲0.9 bp
ベトナム(5年)	2.090%	+0.0 bp	+0.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	40,834.97	▲0.2%	+2.7%
N225(日本)	38,062.92	+1.8%	+5.1%
STOXX50(ユーロ圏)	4,857.58	▲0.3%	+3.5%
ASX(オーストラリア)	4,525.70	▲1.0%	+0.6%
FTSE(シンガポール)	3,370.31	+0.4%	+3.4%
SSEC(中国)	2,866.66	▲0.9%	▲0.0%
SENSEX(インド)	80,802.86	+0.5%	+2.3%
JKSE(インドネシア)	7,533.99	+0.9%	+2.4%
KLSE(マレーシア)	1,642.77	▲0.4%	+2.1%
PSE(フィリピン)	6,944.76	+0.8%	+4.4%
SETI(タイ)	1,328.12	+0.4%	+2.3%
VNINDEX(ベトナム)	1,272.55	+0.9%	+3.4%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	276.42	+0.0%	+0.0%
金	2,513.99	+0.4%	+2.0%
原油(WTI)	74.04	▲0.4%	▲5.5%
銅	9,085.84	▲0.6%	+2.7%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	144.60	—	147.80
EUR/USD	1.0890	—	1.1150
AUD/USD	0.6585	—	0.6780
USD/SGD	1.3010	—	1.3180
USD/CNY	7.1260	—	7.1890
USD/INR	4.3500	—	4.4530
USD/THB	33.90	—	35.05
USD/IDR	15400	—	15750
USD/PHP	56.50	—	57.10
USD/VND	83.00	—	84.10
USD/VND	24,100	—	25,500

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は146円台後半でオープン。序盤は売りが優勢となり、東京仲値通過後ほどなくして145円台後半をつけるも、一服すると反転上昇。日経平均株価の上昇も後押しにじりじりと値を上げ、147円台を回復し、海外時間へ。アジア通貨は対ドルで堅調推移となり、特にインドネシアは一時0.5%高となり1月初旬以来の高値をつけた。本日はタイ、インドネシアにおいて中銀会合が予定されているが、いずれも金利据え置きが予想されている。

NY時間のドル円は146円台前半でオープン。午前中は材料難の中、米金利が下げ幅を拡大する動きが一段の重しとなり、軟調な推移が続き、145円台前半まで下落。午後はボウマンFRB理事の「継続的なディスインフレーションの進展が確認できれば、利下げは適切となる」との発言を受け、米金利が低水準で推移。結局145円台前半でクローズとなった。

【金利】

昨日の米金利は低下。ジャクソンホール会議でのパウエル議長発言を控え、利下げ観測が強まっていることや、昨日公表のカナダの7月CPIが低い伸びとなったことを受けカナダ国債が買われた流れが波及してか、特に短期ゾーンを中心に大きく下げの展開となった。

【予想】

本日のドル円は上値の重い動きを予想。本日米国時間には米雇用統計の改定値公表が予定されているが、9月会合における利下げ幅やその後の利下げ可能性有無に関する新たな手掛かりとなる可能性もあり、注目が必要。雇用者数が下方修正となれば利下げ観測が一段と進行し、ドル売りが強まる展開に警戒したい。

【本日の予定】

(日本) 7月 貿易収支
(日本) 輪番 1-3y、3-5y、5-10y
(アジア) 2Q 韓国 短期対外債務
(アジア) 7月 豪 ウェストハック 景気先行指数
(アジア) 7月 韓国 PPI 前年比
(アジア) インドネシア 金融政策会合
(アジア) タイ 金融政策会合
(アジア) 休場 フィリピン
(欧州) 8月 英 英国産業連盟
(欧州) 独 国債入札(10Y)
(米国) FOMC議事要旨
(米国) MBA住宅ローン申請指数
(米国) 国債入札(20Y)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権は必ずしも銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。